

동사 「切る」의 의미에 대한 考察*

全成龍**

(e-mail: immanuel@cju.ac.kr)

目次

1. 들어가며
 2. 「切る」의 의미 분석
 - 2.1 A가 구체적인 사물명사를 나타낼 때
 - 2.2 A가 추상적인 명사를 나타낼 때
 3. 마치며
-

1. 들어가며

하나의 단어(어휘)가 2개 이상의 여러 개의 의미를 지닐 때, 이를 소위 多義語라 부르며, 이 多義語는 중심적(기본적)인 의미와 파생적(주변적)인 의미를 내포하게 된다. 그런데 세계의 수많은 언어 가운데는 이런 多義語가 없는 언어가 없으며, 대부분의 언어에 있어서 일반적으로 우리의 일상생활 속에서 사용빈도수가 높은 단어일수록 多義語가 많다. 예를 들면, 영어의 「have」 라든지 「do」가 그렇고, 우리나라 말의 「먹다」 「치다」라는 동사가 그렇다. 일본어의 경우도 마찬가지이다. 일본어에도 수많은 多義語가 존재하고 있다. 하지만 이런 多義語가 내포하고 있는 다양한 의미는 우리들의 일상생활 속의 언어활동에서 그냥 아무렇게 결정되며, 쓰이는 것일까? 그렇다면 우리들의 일상생활 속에서 분명 어떠한 오해를 불러일으키거나, 의사소통의 장애를 일으킬 만도

* 이 논문은 2012-2013년도에 청주대학교 한국문화연구소가 지원한 학술연구조성비(특별연구과제)에 의해 연구되었음.

** 청주대학교 일어일본학과 교수, 일본어학

한데, 그렇지 않은 것은 왜일까? 본인은 일본어의 동사 중에서 「切る」라는 동사를 통해, 일본어 동사 「切る」가 지니고 있는 다양한 의미가 어떤 조건하에서 결정되는가에 대해 살펴보고자 한다. (여기에서는 「わかりきる」「登りきる」와 같이 동사 연용형에 붙은 「きる」¹⁾는 본 연구대상에서 제외하기로 한다.)

먼저 논하기 전에 동사 「切る」에는 어떠한 의미가 있는가를 살펴보면, 『例解新国語辞典』(三省堂·第二刷 p.240)에는 다음과 같이 설명하고 있고

- ① はものなどできずをつけにしたりする。木を切る。紙を切る。つめを切る。
- ② つづけていたことや、つづいていたことをやめて、そこで終わりにする。
電話を切る。スイッチを切る。ことばを切る。
- ③ ①のような感じの動作をする。水を切る。カードを切る。ハンドルを切る。
- ④ 新しくはじめる。スタートを切る。口火を切る。口を切る。
- ⑤ ある金額や数量よりすくない状態になる。一万円を切る。100メートルで10秒を切る。

『現代国語例解辞典』(小学館·第一版第一刷 p.318)에는 다음과 같이 설명하고 있다.

- ① 刃物などで、物を分け離す。「肉を切る」
- ② 刃物で傷つけたり、殺したりする。「ナイフで指を切る」
- ③ つながっている関係や続いている事柄を断つ。「縁を切る」「スイッチを切る」
- ④ 継続する事柄を中断する。「息を切る」「言葉を切る」
- ⑤ 中を分けるように勢いよく進む。また、横切る。「風を切って進む」
- ⑥ トランプやカルタなどで、札をよく交ぜ合わせる。「よく切って配る」
- ⑦ トランプやカルタなどで、切り札を使う。
- ⑧ 部屋や土間の一部を掘り下げて、炉やかたつを作る。「炉を切る」
- ⑨ 水分を取り去る。「茶わんのしずくを切る」
- ⑩ テニスやピンポンなどで、球に逆に回転を与えるように打つ。カットする。
- ⑪ 時間や時期を限定する。「日限を切って借金をする」
- ⑫ ある基準の数量以下になる。割る。「百メートルで十秒を切る」「株価が百円を切る」
- ⑬ 勢いのよい、きっぱりした口ぶりや様子などをする。「たんかを切る」「しらを切る」
「スタートを切る」「みえを切る」
- ⑭ ハンドルやかじなどで、進む方向を変える。「右へハンドルを切る」
- ⑮ 小切手、伝票などを発行する。

이렇게 보면 『現代国語例解辞典』(小学館)이 『例解新国語辞典』(三省堂)보다 좀 더 구체적이며 자세히 설명되어 있음을 알 수 있어, 이러한 관점에서 보면 小学館에서 출판된 『現代国語例解辞典』이 三省堂에서 출판된 『例解新国語辞

1) 동사 연용형에 붙은 「きる」에 대해 『例解新国語辞典』(三省堂)에서는 접미사라는 입장을 취하고 있으며(p.240), 『現代国語例解辞典』(小学館)에서는 보조동사라는 입장을 취하고 있음(p.318).

典』보다 이해하기 쉽고 알기 쉽게 기술되었다고 할 수 있다.

그러나 『現代国語例解辞典』(小学館)도 일본어 동사 「切る」가 내포하고 있는 15개의 의미를 나열하고만 있지, 어떠한 조건하에서 어떤 의미가 되는지에 대해서는 전혀 언급하지 않고 있다. 또 일본어 동사 「切る」의 의미를 15개로 설명하면서도 【補助動詞「切る」の付く語例と「切る」の慣用表現】에서 「息を切る」「縁を切る」「カードを切る」「カーブを切る」「風を切る」「口を切る」「口火を切る」「首を切る」「札びらを切る」「自腹を切る」「十字を切る」「正面を切る」「しらを切る」「仁義を切る」「スタートを切る」「堰(せき)を切る」「先頭を切る」「たんかを切る」「手を切る」「手刀を切る」「トップを切る」「とんぼを切る」「腹を切る」「ハンドルを切る」「火ぶたを切る」「見得を切る」를 관용표현으로 설명하고 있어, 일본어 동사 「切る」가 내포하는 의미 중 많은 표현의 의미가 관용표현이라고 설명하고 있다. (이러한 관점에서 보면 『現代国語例解辞典』의 「切る」의 실질적 의미 항목은, 예문이 없는 3개를 제외한 12개의 의미에서도 「縁を切る」「息を切る」「風を切って進む」「よく切って配る」「たんかを切る」「しらを切る」「スタートを切る」「みえを切る」「右へハンドルを切る」는 관용표현이기에 이들을 제외한 「切る」의 실질적인 의미 분류는 8개 항목이다.)

그러면 일본어 동사 「切る」가 지니는 이들의 의미는 과연 어떤 조건하에서 어느 특정한 의미로 나타나는 것일까? 여기에서 작품 속에 쓰인 실례를 통해 나타내는 그것을 구체적으로 밝히고자 하는데, 본 연구의 대상에서 『現代国語例解辞典』에서 관용표현으로 취급된 것들은 제외하기로 한다.

2. 「切る」의 의미 분석

타동사인 「切る」의 목적어(대상어)인 を격 명사를 A로 가정해서, 일반적으로 「Aを切る」로 나타낼 때, A에 오는 명사의 특징에 따라 일본어 동사 「切る」의 의미가 달라지는 것을 알 수 있는데, 여기에 대해 구체적으로 살펴보고자 한다.

2.1 A가 구체적인 사물명사를 나타낼 때

「切る」의 가장 기본적인 의미는 다음에서 보이는 것과 같이 A에 구체적인 사물명사가 올 때, 다시 말해 구체적인 사물명사가 「切る」의 목적어(대상어)가 될 때 동사 「切る」는 가장 기본적인 의미를 나타내게 되는데, 이것이 『現代国語例解辞典』의 ①번의 의미인 「刃物などで、物を分け離す」이다.

예1; 裕子の前の席では緑が、定規でゴキゴキと消しゴムを半分に切っている。朝の騒ぎで消しゴムを無くしてしまった裕子に、自分のを半分、提供しようとしているのだ。

(その時、ハートは盗まれた)

예2; 私はその後姿に仰天して、

「もう起きていいの？」

と言った。

「だって、いつまで寝てても仕方ないでしょう。」

と母は笑った。決して元気になったわけじゃないんだとわかるような、作った笑顔だった。あわててテーブルの上を片づけて、はしを出したり、ごはんをよそったりしながら私は、

「もう少し寝てていいのに。」

と言った。母が食事を作るスピードは前と違ってゾンビのテンポだったからだ。

焼き豆腐を、ゆっくり、ゆっくり切っている。私は悲しくなってしまった。

(うたかた サンクチュアリ)

예3; 「なにかのむ？」

私が訊くと、マーヴはシェリーをのむとこたえた。私は台所いき、グラスを二つ用意する。一つにはアマレットを、もう一つにはシェリーを、それぞれ半分ほど注ぐ。りんごを一つ切った。マーヴも私も、ベッドで果物を食べるのが好きだ。

(冷静と情熱のあいだ Rosso)

그런데 A가 구체적인 사물을 나타낸다하더라도 다음 예문과 같이 A가 사람(동물)의 신체 전체, 또는 신체의 일부분을 나타낼 때는 『現代国語例解辞典』의 ②번 의미인 「刃物で傷つけたり、殺したりする」가 된다.

예4; 「まあ、あきれた。そんなこと、どっちに転んでも貴方は女に甘い人だということを証明してるだけですわ。泣きごとを言ってないで、通俗化に反抗するもっと高邁な精神をお持ちなさいよ。私は貴方に、下宿の娘である私に惚れてはいけません、とハッキリ申し上げたのです。それをまっすぐ受けとれないなんて、貴方はよっぽど意気地なしですわ。そんなことで婦人の肉体を切ったり裂いたりできるのかしら ——」(若い娘)

예5; 裕子は早紀の残したメッセージを読み返した。

『 — 裕子、あの日、もう死のうと思って、手首を切って、だけど死にきれなくて、生まれて一番ジメな思いをした日に、裕子はあたしの横で眠ってくれたね。あたしは本当に安からな気持ちだった。ひなたの匂いのするタオルケットで眠っていた赤ちゃんの頃を思い出したよ。ウソじゃない。ホントに……。 (その時、ハートは盗まれた)

예6; 妻がアキレス腱を切って入院した。Kが夕食を作るようになった。トンカツ屋でヒレカツを三枚買い、カツ丼を拵えた。ご飯はかたく、だし汁は甘すぎ、卵は崩れたオムレ

ツのようになってしまった。(家族の標本)

그러나 A가 신체의 일부분이라 할지라도 A에 의해 나타내어지는 것이 다음 예문과 같이 「髪」 「へその緒」일 경우는 예1~3과 같이 「刃物などで、物を分け離す」의 의미를 나타내게 되는데, 이와 같은 것으로 「つめを切る」도 들 수 있다.

예7; クリップで留めたそれらの詩篇に混じって、あおいの顔写真が一枚ある。自動車の免許取得の時に使った残りを貰ったもので、髪を短く切る前のもの、唯一長い髪をしている。(冷静と情熱のあいだ Blu)

예8; 松原は緊張のあまり、憬子の髪型が変わったことに気づかずにいた。憬子は研究室に来る前に美容院に寄って髪を切った。(君といた夏)

예9; 「古い家系だからね。もともとはトリアゲババアと呼ばれていた助産婦の家系さ」
 そう言って老婆は、ちょっと険しい顔を上田に向けた。
 「坊や、あなどっちゃいけないよ。昔はね、人の一生の運は、へその緒を切る人間によって、与えられると思われていた。昔の助産婦は、人の運命を左右するほどの不思議な力を持っていたんだ」(トリック2)

또, A가 구체적 사물이라 할지라도 지금까지의 진행된 어떠한 상태를 중지하거나 지속시킬 수 있는 사물일 때는 『現代国語例解辞典』의 ③번 의미인 「つながっている関係や続いている事柄を断つ」를 나타내게 된다.

예10; 目は字を追っているが、気持はあの声を聞いていた。たしか「朋文堂の麻田」といっていた。気がついたら、立って、職業別電話帳をめくっていた。絵画材料額縁のところ朋文堂があった。

「モシモシ、朋文堂ですが」

ダイヤルを廻したら、あの声が出た。サチ子は電話を切り、住所をメモに書き込んだ。(隣の女)

예11; 誤解されたのなら、誤解されたままの女になってやろうか。わたしはそう思うことがある。あれから幾度、彼に電話をかけたことだろう。が、わたしの声を聞いただけで、彼は電話を切った。ひとことも、わたしの声は聞くまいとして。手紙も書いた。だが恐らく、彼はストーブの中に、そのまま焼き捨てたにちがいない。多分封も切らずに……。 (石の森)

예12; 夏目は、鼻唄まじりにシャツを羽織っていた。何気なくつけておいたテレビは、ニュース番組が始まっているが、そろそろ出かける時間だ。夏目はスイッチを切ろうとして、画面に映った斎藤麗子の顔写真を見て、あっと思った。(最後の恋)

그런데 다음 예문은 「電話を切る」와 같은 의미지만, 「切る」의 대상인 A가 「電話」가 아니라 「受話器」인 경우이다.

예13; 裕子は兄から受話器をひったくった。

「もしもし —」

裕子はおそるおそる呼びかけた。

「裕子……?」

早紀の弱々しい声が聞こえた。

「どうしたの、早紀?」

「あたし、手首切ったの……」

「ええっ?! 早紀! しっかりして! すぐ行くから —」

裕子は受話器を切った。(その時、ハートは盗まれた)

또, A가 구체적인 사물명사라 할지라도 A가 물이나 기름과 같은 액체일 때는 『現代国語例解辞典』의 ⑨번 의미인 「水分を取り去る」를 나타내게 된다.

예14; 朝美は帽子をつかんで「セーフ」と言いながら戻ってきた。スカートの裾(すそ)から水が滴っている。

「……それ、入江さんにもらったのか?」杉矢は帽子の水気を切っている朝美に尋ねる。

「えっ?」朝美の表情は明らかに動揺している。(君といた夏)

예15; 廃油を使って石鹼を作る人は多くいます。一般的には、カセイソーダに廃油を混ぜ、型に流して熟成させます。界面活性剤を使わず廃油を再利用するため確かにエコですが、なかなか普及しません。べたっとした独特のにおいのためです。

試行錯誤を重ねるうち、身近な食品を入れれば廃油のにおいが消えることを発見しました。この食品については企業秘密とします。

油が肌に与える影響ですが、実は使い古された油ほど、病気や老化の原因物質を抑える抗酸化成分が多く含まれているのです。固形作用のあるカセイソーダは有毒なため、試作を重ね最少投入量を導きました。

もちろん、石鹼には保存料は一切入っていません。このため溶けやすいという欠点がありますが、この点だけは譲れません。ネットに包んで水を切りながら使ってもらい、小さくなったら水に溶かして洗濯に使うよう勧めています。

(yomiuri.co.jp 2009.9.9)

예16; 【材料】 (4人前)

ニンジン40グラム、ミツバ1束、素干し桜エビ20グラム、ゆでギンナン50グラム、小麦粉1カップ、卵1個、揚げ油適量、大根おろし適量、天つゆ (だし1カップ、しょ

うゆ50cc、みりん50cc)、好みで塩またはみかん塩

(1) ニンジンを千切りにし、ミツバを3センチの長さに切る。ギンナンは1個を4等分に刻む。(中略)

(7) カリッとなった頃合いを見て上下を返す。全体がカリッとなり、持ち上げたときに軽いと感じたら揚がっている。時間で4分ほど。

(8) 網を敷いたバットにとり、**油を切る**。

(9) 天つゆは、なべにだしとしょうゆ、みりんをあわせ、さっと煮立てる。大根おろしを添える。好みで塩をつけてもいい。(asahi.com 2008.7.16)

그런데 『現代国語例解辞典』를 보면 「切る」의 ⑧번 의미로 「部屋や土間の一部を掘り下げて、炉やこたつを作る」라고 설명하며, 이에 대한 예문으로 「炉を切る」 들고 있는 것을 알 수 있다. 다시 말해 이것은 일본어 동사 「切る」의 의미가 동사 「作る」와 같은 의미로 쓰인다는 것인데, 이렇게 일본어 동사 「切る」가 「作る」와 같은 의미로 사용되는 경우는, 대상인 A가 구체적인 사물이라 할지라도, 동사 「切る」가 나타내는 동작에 의해 대상인 A가 만들어지는 경우일 때, 동사 「切る」는 「作る」와 같은 의미로 쓰이게 되는 것이다. 「炉を切る」의 경우, 「切る」라는 동작의 대상이 「炉」가 아니라, 『現代国語例解辞典』의 설명으로도 알 수 있듯이 「切る」하는 것은 「部屋」 또는 「土間」이며, 「炉」는 「切る」라는 동사가 나타내는 동작의 결과 만들어지는 것이다. 이와 같은 것으로 「お湯を沸かす」「ご飯を炊く」 것을 들 수 있는데, 왜냐하면 이것들도 「沸かす」한 결과 「お湯」가 만들어지며, 「炊く」한 결과 「ご飯」이 만들어지기 때문이다. 이런 것들에 대해 奥田靖雄씨는 「を格の名詞と動詞とのくみあわせ」²⁾의 [物にたいするはたらきかけ]에서 [結果的なむすびつき]라고 하면서 連語論적인 입장에서 다음과 같이 설명하고 있다.

結果的なむすびつきをあらわす連語では、かざり名詞でしめされる物は、物理的なはたらきかけをうける対象ではなく、その結果としてつくりだされたものである。

또, 鈴木重幸씨는³⁾ 여기에 대해 「つるをつくる」라는 예를 들며, 構造的なタイプ로서 生産物인 [具体名詞(を格)]와 [生産性の動詞]가 결합될 때, 이렇게 된다고 논하고 있다.

예17; 茶室に**炉を切る**。(大辞林)

2) 言語学研究会編 『日本語文法・連語論(資料編)』むぎ書房, p.40

3) 鈴木重幸 『日本語文法・形態論』むぎ書房, p.74

예18; 一抱に余る柱を立て並べて造った大厦の奥深い広間に一間四方の炉を切らせて、炭火がおこしてある。その向に茵を三枚畳ねて敷いて、山椒大夫は几に靠れている。左右には二郎、三郎の二人の息子が狛犬のように列んでいる。もと大夫には三人の男子があつたが、太郎は十六歳の時、逃亡を企てて捕えられた奴に、父が手ずから烙印をするのをじっと見ている、一言も物を言わずに、ふいと家を出て行方が知れなくなった。今から十九年前の事である。(山椒大夫)

예19; 燕山荘には、老人がひとりでランプを磨いていた。

客はいなかった。

部屋の隅にふとんが積みあげてあるけれど、せいぜい三十人ほども泊ればいっぱいになりそうな小屋だった。

小さな小屋の割合に炉が広く切っており、大きな鍋の下で、太い薪がくすぶっていた。(孤高の人)

2.2 A가 추상적인 명사를 나타낼 때

지금까지의 진행된 어떠한 상태를 중지하거나 지속시킬 수 있는 대상인 A가 전화나 스위치 등과 같은 구체적 사물이라면 앞의 예10~13에서 살펴보았듯이 『現代国語例解辞典』의 ③번 의미인 「つながっている関係や続いている事柄を断つ」를 나타내게 되지만, A가 다음에서 보여지 듯, 「言葉」와 같은 추상명사일 때는 『現代国語例解辞典』의 ④번 의미인 「継続する事柄を中断する」를 나타내게 된다.

예20;それから数日後の朝、1年7組の教室にちょっとしたニュースが流れた。

「ちょっと裕子、ニュースよ、ニュース！」

妙子が走りよってきた。

「なになに、何かあったの?」

緑も寄ってきた。

「麻生さんよ。とうとう警察が—」

妙子は途中で言葉を切って、新聞記事を差し出した。

「まあ、これ見てよ」

裕子と緑は、社会面の小さな記事を読んだ。(その時、ハートは盗まれた)

예21; 崇が言葉をきり、私はたちまちおしよせてくる記憶の波に流されないように、懸命に現実につかまった。ミラノの、マーヴのアパートの、快適にエアコンディショニングされたリビングのソファにいまいるという現実だ。(冷静と情熱のあいだ Rosso)

예22; 「～。厳寒期の八甲田山をいかなる犠牲を払って踏破せよというのではない。

寒とは如何なるものか、雪とは何物なのか、その真実の姿を、提示して貰えればいいのである」

中林大佐はそこで言葉を切って、友田少将の顔を見た。補足することがあればどうぞという顔であった。(八甲田山死の彷徨)

또, 다음과 같이 「切る」의 대상인 A가 「기일」이나 「날짜」를 나타내면 『現代国語例解辞典』의 ㉠번의 의미인 「時間や時期を限定する」가 되며,

예23; 確かサイトを開いたのは1999年だったかの正月。正月とか区切りにしないと自分的に先延ばし先延ばしにして絶対やらないと思ったので日限を切ってそれへ向けて進めました。

最初は色々評論みたいなものをやろうと思っていました。その残骸がトップページです。一応フォルダもそれぞれ切ってます。(asahi.com 2004.6.16)

예24; こんなことをしていた処で、仇のありかはとても知れそうもない。万一知れたところで、尋常に助太刀の務めを果たすほどのしっかりした覚悟をもっていない彼等は、時の過ぎゆくに従って自分たちの行く末を考えなければならなかった。百日の期限が過ぎて仇のゆくえが知れない暁には、自分たちの不首尾は眼に見えている。一体江戸にいるか居ないか確かに判りもしないものを、日限を切って探し出せというのが無理であるが、それも屋敷の命令であるから仕方がない。(半七捕物帳)

다음 예문과 같이 A가 「무게」 「길이」 「시간」 「가격」 등일 때에 『現代国語例解辞典』의 ㉡번 의미인 「ある基準の数量以下になる。割る」를 나타내게 되는데, 『例解新国語辞典』의 의미로는 ㉢번인 「ある金額や数量よりすくない状態になる」가 된다.

(무게)

예25; 高校二年のとき、成績が急速に悪化したのと体重が四十キロを切ったのとで、母親が学校に呼び出された。

躰が回復するまで休学ということになり、担任が書いた紹介状を持って精神科に通うようになった。(家族の標本)

예26; 加藤広志が変調に気づいたのは72年2月、34歳だった。倦怠(けんたい)感が体を襲い、尿はトマトジュースのように赤くなった。

冬の体育館は凍(い)てつく寒さだ。生徒と一緒に動いているときはいいが、立ち止まって練習を見守っていると、汗でぬれた体からどんどん熱が奪われる。とはいえ生徒の手前、自分だけ服を着込むのも気が引ける。そんなこ

とを繰り返していたから、6年前にも体を壊したことがあった。

「またか」と思ったが、どうも勝手が違う。病院に行ったら急性腎炎と診断され、即入院が決まった。3カ月たっても快方の兆しが見えず、能代から東京の大学病院に転院。180センチと大柄な加藤の体重が、**60キロを切る**までに衰弱していた。(asahi.com 2008.9.13)

(길이)

예27; 先頭でたすきを受け取り、10区を走る駒大・太田第84回東京箱根間往復大学駅伝競走(3日)——最終10区(23.1キロ)は、駒大・太田(3年)が、3年ぶりの総合優勝に向けて力走。

早大の神沢(2年)は、ゴールまで残り**10キロを切った**地点で駒大との差は1分35秒差に広がった。(yomiuri.co.jp 2008.1.3)

예28; 陸上の世界選手権第5日は19日、ベルリンで行われ、女子5000メートル予選は、同1万メートルで7位の中村友梨香(天満屋)が15分21秒01で1組6着、初出場の小林祐梨子(豊田自動織機)は15分23秒96で2組8着となり、ともに自動的に通過が決まる各組5着以内は逃したものの、タイムで救われて22日の決勝に進んだ。

(中略) 堂々と前に出たのは「決勝に残るにはスローペースを避けたい」という戦略だった。ライバルを早めに振るい落とし、最後のスプリント勝負に持ち込むためだ。2800メートル付近で一時的後退したが、再びトップに浮上し、残り**1000メートルを切って**「先に仕掛けよう」とロングスパート。ラスト1週の鐘が鳴ると、アフリカ勢に離され「もう少し食らい付きたかった」と笑ったが、1万メートルに続く15分21秒01の自己ベストで6着に入り、決勝に進んだ。(sponichi.co.jp 2009.8.19)

(시간)

예29; 大瀬戸君は身長177センチ、体重61キロ。大山顧問の話では、恵まれた体格に加え、研究熱心で、スタートダッシュがいい。10月には新潟国体や横浜で開かれるジュニア五輪にも出場するという。今回の優勝記録は10秒70。中学記録は10秒67で、できれば記録を更新したいという。

好きな選手是北京五輪男子400メートルリレーで銅メダルを獲得した朝原宣治選手。「将来は**10秒を切る**記録を出し、五輪や世界陸上で決勝に残れるような選手を目指したい」と夢をふくらませた。(asahi.com 2009.9.2)

예30; 水泳の第85回日本学生選手権が4日、熊本市総合屋内プールで開幕した。競泳の女子100メートル平泳ぎでは、山梨学院大1年の鈴木聡美が、日本選手で初めて**1分7秒を切る**1分6秒32の日本新で初優勝。同予選では松島美菜(日大)が、長水路の日本記録で最古だった田中雅美の1分7秒27を0.04秒更新したが、鈴木が決勝でさらにタイムを縮めた。男子200メートル背泳ぎは、今夏の世界

選手権銀メダルの入江陵介(近大)が、自身の大会記録を更新して2年連続優勝。世界選手権男子200メートル自由形4位の内田翔(法大)も、400メートル自由形で2連覇を果たした。(asahi.com 2009.9.4)

(가격)

예31; 富士フィルムの樋口武常務執行役員(電子映像事業部長)がロイターのインタビューで述べた。

100ドルを切る低価格のデジカメは、部品の共通化などによって製造コストを引き下げたモデルで、富士フィルムは7月から、中国、ロシア、インド、ブラジルの各市場に投入した。樋口常務は「どんどん注文が来ている。物が足りないくらいだ」と話した。本来は新興国向けに開発したモデルだが先進国でも好評で、8月に発売した米国と欧州でも受注が相次いでいるという。(asahi.com 2009.8.14)

예32; しかし、ここ1、2年は技術開発が急速に進んでおり、価格が下がったことで、家庭への普及にも弾みがつく可能性がある。調査会社の富士経済は、国内のLED照明の市場規模が07年からの5年間で10倍になり、照明全体に占める割合も11%を超えると見込む。

環境意識の高まりも追い風だ。経済産業省は消費電力の大きい白熱電球の生産や販売を、12年までにやめるよう各メーカーに求めた。東芝ライテックやパナソニック、三菱電機などが相次いで、白熱電球の生産停止・縮小を決めた。代わりに寿命が6千~1万2、3千時間程度で、**千円を切る**価格から求められる電球型蛍光灯や、LED電球にシフトする動きを強めている。(asahi.com 2009.7.12)

3. 마치며

지금까지 논한 것을 여기에서 간단히 요약해 보면 다음과 같다.

일본어 동사 「切る」라는 단어는 多義語로서 여러 가지 의미를 지니고 있지만, 「切る」라는 동사가 문장 속에 사용될 때는 어느 특정한 의미 하나만을 나타내게 되는데, 이것은 그냥 아무렇게나 어느 특정한 의미를 나타내는 것이 아니라, 「切る」라는 동사의 대상어가 되는 명사가 어떠한 명사인가에 따라 결정된다. 다시 말해 「切る」라는 동사의 대상어가 되는 명사의 특징에 따라 「切る」라는 동사의 의미가 결정된다는 것이다.

그 첫 번째로, 타동사인 「切る」의 대상어가 구체적인 사물을 나타내는 명사일 때는, 「切る」의 의미는 「刃物などで、物を分け離す」이지만, 「切る」의 대상어가 구체적인 사물을 나타내는 명사라 할지라도, 이것이 사람이나 동물의 신

체(의 부분)일 때는 「刃物で傷つけたり、殺したりする」가 되며(신체의 부분이라 할지라도 髪나 つめ나 へその緒와 같은 경우는 「刃物などで、物を分け離す」의 의미가 됨), 「切る」의 대상어가 전화와 같이 지금까지의 진행된 어떠한 상태를 중지하거나 지속시킬 수 있는 사물일 때는 「つながっている関係や続いている事柄を断つ」된다. 또 「切る」의 대상어가 물이나 기름과 같은 액체일 때는, 「切る」의 의미는 「水分を取り去る」가 되며, 「切る」라는 동사가 나타내는 동작에 의해 생산되는 사물이 동사 「切る」의 대상어가 될 때의 「切る」의 의미는 「作る」가 된다는 것이다.

두 번째로, 타동사인 「切る」의 대상어가 구체적인 사물이 아니라 「言葉」와 같이 추상적인 명사를 나타낼 때의 「切る」의 의미는 「継続する事柄を中断する」가 된다. 그러나 「切る」의 대상어가 추상명사를 나타낸다 할지라도, 그것이 「기일」이나 「날짜」를 나타내게 되면 「切る」의 의미는 「時間や時期を限定する」가 되는 것이다. 또, 「切る」의 대상어가 「무게」 「길이」 「시간」 「가격」 등을 나타낼 때의 「切る」의 의미는 「ある基準の数量以下になる。割る」가 된다는 것이다.

【引用 및 参考文献】

- 林 四郎 外(1984) 『例解新国語辞典』, 三省堂, p.240
林 巨樹 監修(昭和60年) 『現代国語例解辞典』, 小学館, p.318
言語学研究会編(1983) 『日本語文法・連語論 (資料編)』, むぎ書房, p.40
鈴木重幸(1972) 『日本語文法・形態論』, むぎ書房, p.74
松村 明 編(1988) 『大辞林』, 三省堂, p.2577

【出典一覽】

- 石坂洋次郎 「若い娘」(『女同士』所収・角川文庫)
江国香織 『冷静と情熱のあいだ Rosso』 (角川文庫)
北川悦吏子 『君といた夏』 (角川文庫)
北川悦吏子 『最後の恋』 (角川文庫)
北川悦吏子 『その時、ハートは盗まれた』 (角川文庫)
辻 仁成 『冷静と情熱のあいだ Blu』 (角川文庫)
新田次郎 『八甲田山死の彷徨』 (新潮文庫)
新田次郎 『孤高の人』 (新潮文庫)
蒔田光治 外 『トリック2』 (角川文庫)
向田邦子 「隣の女」(『隣の女』所収・文春文庫)
三浦綾子 『石の森』 (集英社文庫)
森 鷗外 「山椒大夫」(『山椒大夫・高瀬舟』所収・新潮文庫)
柳美里 『家族の標本』 (朝日文芸文庫)
吉本ばなな 「うたかた」(『うたかた・サンクチュアリ』所収・新潮文庫)
岡本綺堂 『半七捕物帳 (一)』 光文社文庫

asahi.com

sponichi.co.jp

yomiuri.co.jp

要 旨

この論文は、日本語の多義語である動詞「切る」が持っているいろいろな意味合いのうち、どういう条件のもとで、ある特定の意味を表すのか、を明らかにしたものである。日本語の「切る」という動詞は、複数の意味合いを持っているが、それは、「切る」と組み合わせられる対象語の名詞の種類によって、日本語の「切る」という動詞が表す意味が決まってくるのである。すなわち、「切る」の対象となる名詞が具体名詞か、抽象名詞かによって、その表す意味が大きく分かれ、さらに、「切る」の対象となる具体名詞がどんなものなのかという、ものの種類によってもその表す意味が異なってくるのである。このことは、抽象名詞の場合も同じであって、その「切る」の対象となる抽象名詞の種類によっても、「切る」が表す意味が異なってくるということを、日本語の作品や新聞などに用いられている実例に基づいて明らかにしたのである。

キーワード：多義語、具体名詞、ものの種類、抽象名詞、概念の種類、
連語の構造

투 고 : 2013. 2. 28
1차 심사 : 2013. 3. 16
2차 심사 : 2013. 4. 6